



### 健康づくり

#### 糖尿病についての講演会

「糖尿病治療を楽しくするために」は、糖質制限は有効な方法か？

要約筆記があります。

日 2月21日(日)午後2時～4時

場 町田市民文学館

講 (医社) ユスタヴィア理事

長・宮川高一医師

定 80人(申し込み順)

申 2月1日正午から電話でイ

ベントダイヤル(☎724・

5656)へ。

問 健康推進課 ☎725・51

78 FAX 050・3101・4

923



### 募集

#### 消費生活センター

#### 運営協議会委員

「くらしに役立つ学習会などを一緒に企画しませんか？」

消費生活センターでは、市と協働で学習会、テスト教室などの企画・運営をボランティアで行う委員を募集します。

市内在住、在勤の、月に数回程度の活動に参加できる方(営利目的は不可) 125人程

## 町田市民病院職員募集

問 町田市民病院総務課 ☎722・2230(内線7412) FAX 720・5680

職種	募集人員	受験資格	日程等	採用日
看護師	30人程度	1976(昭和51)年4月2日以降に生まれた、当該資格を有する方、または2017年春までに取得見込みの方	○郵送受付 4月6日(水)まで(必着) ○持込受付 4月5日(火)、6日(水) ※午後5時まで ○試験日 4月17日(日)	7月1日、10月1日、2017年1月1日、4月1日
助産師	若干名			

※試験実施要項と受験申込書は町田市民病院ホームページでダウンロードできます。町田市民病院・各市民センターでも配布します/郵送・持ち込みは町田市民病院総務課へ/採用条件等は募集要項を十分に確認して下さい。

## ご案内

### 浄化槽の清掃はお済みですか？

「浄化槽清掃補助委任状の有効期限は3月末です」

市では下水道の未供用及び供用開始日から1年以内の地域の対象者に、「浄化槽清掃



(町田市医師会)

### のどの詰まりにご用心

毎年のように、お正月に食べ物などの詰まらせて救急車で病院へ搬送されるといったニュースを見聞きします。高齢者の方は嚥下機能、咀嚼機能が低下するため、食物を大きな塊のまま飲み込んでしまうことでの詰まらせる(窒息する)ことがあります。

また、乳幼児は手にしたものをも何でも飲み込んでしまうことがあり、食物やそれ以外のタバコや電池などによって窒息してしまいう痛ましい例もあります。

もし皆さんの身近な方がそのような事態になってしまったときは、どうすればよいのでしょうか。もちろん、救急車を呼ぶことはとても大事ですが、待っている間にどうにか

かして詰まったものを吐き出させることができないでしょうか？

方法として、腹部突き上げ法と背部叩打法があります。成人と小児には両方法を、妊婦と乳児には背部叩打法のみを行って下さい。

まず、腹部突き上げ法ですが、成人に対しては①背中から両腕を回し窒息者のおなかを抱えるようにする②片手で握り拳を作り、鳩尾のやや下に当てる③その上をもう一方の手で握り、斜め上(自分の胸)に向かって素早く突き上げ圧迫する、を行います。小児も同様です。

次に背部叩打法ですが、成人に対しては①自分の手の付け根で肩甲骨の間を力強く何度も連続して叩く、を行います。乳児の場合は①自分の片腕の上につぶせに乗せる②手のひらで乳児の顔を支えながら、頭部が低くなるような姿勢にして突き出す③もう一方の手で、背中の中を異物が取れるか反応がなくなるまで強く叩く、です。この方法を冷静に行って下さい。

### 鶴見川流域水マスタープラン改定記念シンポジウム

鶴見川流域水マスタープラン(水マス)は、策定から10年以上が経過し、新たな課題等に対応するため、昨年の12月に改定されました。この改定を記念したシンポジウム及び鶴見川源流保水の森・調整池の見学会を開催します。

※鶴見川流域水協議会(国土交通省関東地方整備局・東京

都・神奈川県・町田・横浜・川崎・稲城市)主催です。

①行ってみよう! 鶴見川源流保水の森&調整池見学バスツアー

日 2月21日(日)午前9時～正午、集合は午前8時45分にJR横浜線淵野辺駅南口、解散は町田市文化交流センター付近

定 50人(申し込み順) ②水マスタープラン改定記念シンポジウム

### 新・町田市子どもマスタープラン(案) ご意見ありがとうございました

問 子ども総務課 ☎724・2876 FAX 050・3101・8377

市では、「新・町田市子どもマスタープラン」の策定にあたり、皆様のご意見を募集しました。頂いたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。ご意見の概要と市の考え方をいくつかご紹介いたします。

募集期間：2015年12月1日～28日/応募者数：18人/意見件数：52件

ご意見の概要	市の考え方
「子どもの悩みに対処する体制の充実」の主な取り組みとして、子ども家庭支援センターの相談件数目標が2015～2019年度に1000件増えている。1件ずつの相談にきめ細かく対応するための職員体制は充分なのか。	現在、虐待に関する相談件数は増加傾向にあり、今後、民間も含めて専門的な知識を有する有資格者が相談にあたるなど、質を確保しながら効率的に運営していきます。
「子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている」について、発達障がいや相談できる場の用意をしていただき大変安心できました。	発達に遅れや心配がある乳幼児の保護者や関係機関からの相談を受け、発達を促すための療育・助言を引き続き行っていきます。
マスタープランは制定して終わりではなく、それを生かした活動を行うことが大切だと思う。子どもの意見を取り入れる仕組みを考え、子どもたちが活躍できる場を作ってください。	子どもの権利条約の主旨を尊重し、さまざまな場面で子どもの参画を促し、また支援してまいります。

詳細は、町田市ホームページで公表するほか、次の窓口でも資料を配布します。子ども生活部各課窓口(市庁舎2階など)、市政情報課・広聴課(市庁舎1階)、各市民センター、町田・南町田・鶴川の各駅前連絡所、木曾山崎・玉川学園の各コミュニティセンター、各市民立図書館、町田市民文学館、男女平等推進センター、生涯学習センター、保健所

### 第5次町田市障がい者計画(案) ご意見ありがとうございました

問 障がい福祉課 ☎724・2136 FAX 050・3101・1653

市では、「第5次町田市障がい者計画」の策定にあたり、皆様のご意見を募集しました。頂いたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。ご意見の概要と市の考え方をいくつかご紹介いたします。

募集期間：2015年11月1日～30日/応募者数：46人/意見件数：164件

ご意見の概要	市の考え方
「学び、文化芸術・スポーツ活動」について、障がいの重い・軽いに関係なく、幅広く参加・活動ができるようにして下さい。	市は、障がいのある方がさまざまな活動に参加できるように、障がいに応じた配慮をする必要があると考えています。障がいのある方が社会教育・文化芸術・スポーツ活動に参加しやすくなるような取り組みを進めます。
「情報アクセシビリティ」について、障がい者に応じた情報提供を広くお願いします。	市は、障がいのある方が、自分にあった方法で必要な情報を得られることが大切であるとと考えています。障がいに合わせた情報提供や意思疎通の支援を進めます。
「差別をなくすこと」について、障がい者の差別をなくすために地域の方々に理解をしてほしい。	市は、差別をなくすためには市民の障がいに対する理解が大切であるとと考えています。差別のない社会の実現に向け、障がい及び合理的配慮の正しい理解を広げる取り組みを進めます。

詳細は、町田市ホームページで公表するほか、次の窓口でも資料を配布します。障がい福祉課(市庁舎1階)、市政情報課・広聴課(市庁舎1階)、各市民センター、町田・南町田・鶴川の各駅前連絡所、木曾山崎・玉川学園の各コミュニティセンター、ひかり療育園、すみれ教室、各市民立図書館、町田市民文学館、男女平等推進センター、生涯学習センター

な・電話番号・FAX番号 (FAXで申し込みの場合)・参加者全員の氏名(ふりがな)・参加希望プログラム(両方①のみ・②のみ)を明記し、2月19日正午までにFAXまたはEメールで(株)ニ

デア(FAX)045・271・384 44 index@neo.nifty.jp) 5・271・1494(受付時間)月～金曜日(祝休日を除く)の午前10時～午後5時、町田市下水道総務課 ☎724・4290 FAX 050・3161・6448